

12 2017年の主な動き

月日	主な動き	内容・決定事項など
1	トルコ、銃乱射テロ	イスタンブールのナイトクラブが襲撃され、39人が死亡、約70人が負傷。
5	16年登録車販売台数（速報）【日本自動車販売協会連合会】	324.5万台（前年比+3.0%）。
9	駐韓大使、一時帰国	釜山の日本総領事館前に慰安婦問題を象徴する「少女像」が設置されたことへの対抗措置。ほかに日韓通貨スワップ協定の協議中断や、次官級による経済協議の延期なども。
11	16年輸入車新規登録台数（速報）【日本自動車輸入組合】	34.4万台（前年比+4.6%）。
11	16年末外貨準備高	1兆2,169億300万ドル（前年比▲163億1,100万ドル）。
13	中国、16年貿易統計	輸出は2兆974億ドル（前年比▲7.7%）、輸入は1兆5,874億ドル（同▲5.5%）、貿易総額は3兆6,849億ドル（同▲6.8%）。
14	豊洲地下水調査の最終結果（暫定値）	環境基準値の最大79倍に当たる有害物質のベンゼンと、本来検出されてはいけないシアンを計数カ所所で検出。
17	16年訪日外国人人数【国際観光振興機構】	2,403.9万人（前年比+21.8%）、過去最高であった15年の記録より430万人余り増加。同機構が統計を取り始めた1964年以降で最多。
17	世界経済フォーラム年次総会（～20日、スイス・ダボス）	主要テーマは「Responsive and Responsible Leadership」。初参加の習近平中国国家主席が基調講演で反グローバル化と保護主義を批判。
18	米FRB、ベージュブック（地区連銀経済報告）	16年11月後半から年末にかけて、米経済は「緩やかな拡大が続いた」と指摘。
19	16年工作機械受注額（確報）【日本工作機械工業会】	1兆2,500億300万円（前年比▲15.6%）、2年連続のマイナス。
19	ECB、政策金利	0.00%。
20	第193回国会召集（常会）	今国会では、天皇陛下の退位に関する特例法案やトランプ米大統領就任を受けた外交政策、犯罪の準備段階で処罰の対象とする共謀罪の趣旨を含む組織犯罪処罰法改正案などが焦点に。
20	16年度大学生就職内定率	17年春卒業予定者の内定率85.0%（16年12月1日時点、前年同期比4.6ポイント増）。
20	ドナルド・トランプ氏、米大統領に就任	就任式で「アメリカ・ファースト」を宣言、同日、医療保険制度改革を見直すための大統領令に署名。
20	中国、16年GDP	+6.7%、政府目標の「6.5～7.0%」を達成。
23	16年粗鋼生産量【日本鉄鋼連盟】	1億477.2万トン（前年比▲0.3%）、2年連続の減少。
23	月例経済報告	「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
23	米トランプ大統領、TPP離脱の大統領令に署名	米政権は今後、TPP参加各国と個別に2国間の貿易交渉を始める方針。
25	16年貿易統計（速報）	輸出は70兆392億円（前年比▲7.4%）と4年ぶりの減少、輸入は65兆9,651億円（同▲15.9%）と2年連続の減少、貿易収支は4兆741億円と6年ぶりの黒字。
25	16年薄型テレビ国内出荷台数【電子情報技術産業協会】	474.8万台（前年比▲7.3%）、台数は減少するも金額は4,405億円（同+7.3%）と増加。

月日	主な動き	内容・決定事項など
1	25 16年世界粗鋼生産量【世界鉄鋼協会】	16億2,850万トン（前年比+0.8%）、2年ぶりの増加。
27	米、16年GDP（速報）	+1.6%。
30	日銀、金融政策決定会合（～31日）	短期金利を▲0.1%、長期金利をゼロ％程度とする金融政策の現状維持を決定。
30	米、16年個人消費支出	+2.7%。
31	16年自動車輸出台数【日本自動車工業会】	四輪車は463.4万台（前年比+1.2%）、2年連続の増加。うち乗用車は411.8万台（同+3.7%）。
31	16年国内自動車生産台数【日本自動車工業会】	四輪車は920.5万台（前年比▲0.8%）、2年連続の減少。
31	16年新設住宅着工戸数	96.7万戸（前年比+6.4%）、2年連続の増加。
31	16年12月完全失業率（速報）	3.1%。
31	16年平均の完全失業者数（速報）	208万人（前年比▲14万人）、7年連続の減少。
31	16年度第3次補正予算成立	1兆7,512億円の赤字国債を追加発行するほか、防衛費や災害復旧費などを計上。
31	米、FOMC（連邦公開市場委員会、～2月1日）	政策金利（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を「0.50～0.75%」に据え置くと、多くの委員が「かなり早期の追加利上げが適切」との考えを表明。
2	1 日銀、1月展望レポート	実質GDP成長率は17年度+1.5%、18年度+1.1%と、いずれも上方修正。
1	ロシア、16年GDP（速報）	▲0.2%、原油価格の安定を背景に鉱業が持ち直す。
3	安倍首相、米マティス国防長官と会談	マティス氏、尖閣諸島が日米安保条約第5条の適用範囲であると明言。
7	米、16年貿易収支	貿易赤字は5,023億ドル（季調済、前年比+0.4%）。
8	16年国際収支統計（速報）	経常黒字20兆6,496億円（前年比+4兆2,370億円）。原油安で貿易収支が黒字に転化し、サービス収支が赤字幅を縮小したことから、2年連続の黒字幅拡大。
9	16年機械受注統計	27兆1,907億円（前年比▲4.9%）。
10	16年末時点の国の借金	債務残高総額1,066兆4,234億円と過去最大を更新、前回公表の16年9月末に比べ3兆8,488億円増加。
10	日米首脳会談（ワシントンDC）	安倍首相、トランプ大統領と初の首脳会談。日米同盟および経済関係の強化を確認する共同声明を発表。
12	北朝鮮、弾道ミサイル発射	北朝鮮は以後も実験を続け、年内に弾道ミサイルなどを15回発射。
13	16年GDP（速報）	実質+1.0%、名目+1.3%。
13	北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の異母兄・金正男氏、マレーシアで殺害	マレーシア警察、正男氏の遺体から猛毒の化学剤 VX の成分が検出されたと発表。
14	ユーロ圏19カ国、16年GDP	+1.7%。
20	17年1月貿易統計（速報）	貿易収支は▲1兆869億円と5ヵ月ぶりの赤字。
23	月例経済報告	「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
27	17年度予算案、衆院通過	一般会計総額97兆4,547億円と過去最大。3月27日成立。
28	天皇、皇后両陛下、ベトナム、タイ訪問（～3月6日）	初訪問のベトナムで元日本兵の家族と懇談するなど友好親善に努められ、タイでは親交の深かったプミポン前国王を悼みバンコクの王宮を弔問。

月日	主な動き	内容・決定事項など
2	28 15年度国民健康保険納付率	91.45% (前年度比 +0.5%)、6年連続で改善。
	28 米、16年 GDP (2次速報)	+1.6%。
	28 米トランプ大統領、施政方針演説	医療保険制度改革廃止と代替の医療保険制度の創設、移民規制強化のための国境「壁」建設などを改めて宣言。
3	5 中国、第12期全国人民代表大会第5回会議 (～15日)	17年の経済成長率目標を「6.5%前後」に引き下げると表明。
	7 米軍、高高度迎撃ミサイルシステム (THAAD) の韓国への配備開始	配備開始前から中国は反発、官製メディアが用地を提供したロッテグループを標的にするなど、批判キャンペーンを展開。
	8 16年 GDP (2次速報)	実質 +1.0%、名目 +1.3%。
	9 ECB、政策金利	0.00%。
	10 韓国憲法裁、朴槿恵大統領の罷免を決定	裁判官8人全員が弾劾が妥当と判断、1987年の民主化以来初の大統領罷免。
	12 サウジアラビアのサルマン国王来日 (～15日)	サウジ国王の来日は46年ぶり。安倍首相との会談では、日本企業のサウジ進出を促す経済特区の新設や、エネルギー、インフラなど幅広い分野での協力を合意。
	14 米、FOMC (～15日)	政策金利の誘導目標を「0.50～0.75%」から「0.75～1.00%」に引き上げ。
	15 日銀、金融政策決定会合 (～16日)	金融政策の現状維持を決定。
	17 G20財務大臣・中央銀行総裁会議 (～18日、独・バーデンバーデン)	トランプ政権発足後初の会議。共同声明では、貿易政策で従来記載されてきた「反保護主義」が盛り込まれず。
	17 16年度大学生就職内定率	17年春卒業予定者の内定率 90.6% (17年2月1日時点、前年同期比 2.8ポイント増)。
	21 17年1月1日時点の公示地価	全国平均 (全用途) は前年比 +0.4%と、2年連続の上昇。
	21 米、16年経常収支	経常赤字 4,812億600万ドル (前年比 +3.9%) と3年連続の増加、8年ぶりの高水準。
	22 英、自動車暴走テロ	犯人はロンドンの国会議事堂付近で歩行者を次々とはねるなどし、4人が死亡、50人以上が負傷。
23 月例経済報告	「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」	
29 英、EUに離脱を正式通知	メイ首相、リスボン条約 50条を発動しEUに離脱を通知するとともに、英国はEUとの特別な関係を望むと表明。	
30 米、16年 GDP (確定)	+1.6%。	
4	3 日銀、3月全国企業短期経済観測調査 (短観)	自動車など輸出企業の景況感が改善し、業況判断指数 (DI) は大企業・製造業で +12 と昨年12月から2ポイント改善。大企業・非製造業も +20 と同2ポイント改善。
	3 ロシア、自爆テロ	サンクトペテルブルクを走行中の地下鉄で自爆テロ、14人が死亡、50人以上が負傷。
	4 スペインのフェリペ6世国王夫妻来日 (～7日)	国賓として来日。天皇、皇后両陛下主催の宮中晩餐会には170人が出席。16年10月のベルギー国王夫妻を招いた宮中晩餐会と並び、平成に入って最多の出席者数。
	4 駐韓大使帰任	一時帰国中の長嶺安政駐韓大使、約3ヵ月ぶりに韓国へ帰任。
	6 16年度輸入車新規登録台数 (速報) 【日本自動車輸入組合】	34.7万台 (前年度比 +6.2%)、うち外国メーカー車 29.9万台 (同 +5.9%)。

月日	主な動き	内容・決定事項など
4	6 米、シリアにミサイル攻撃	アサド政権軍がシリアで化学兵器を使用したとみられる空爆を行ったことへの対抗措置として、空軍基地に向け巡航ミサイル 59 発を発射。ロシアは「侵略行為」と激しく批判。
	14 人口推計 (16年10月1日時点) 【総務省統計局】	総人口 1億2,693万3千人 (前年比▲0.13%) と6年連続で減少。
	16 トルコ、大統領権限の強化を問う国民投票	賛成派が憲法改正の承認に必要な過半数 (51.4%) を獲得。次の大統領選後、現行の議院内閣制から、大統領が国家元首と行政の長を兼ねる体制に移行。
	17 中国、1～3月期 GDP (前年同期比)	+6.9%。
	18 IMF世界経済見通し (春季)	世界経済の実質 GDP 成長率は17年 +3.5%、18年 +3.6%、製造業や貿易の世界的な伸びが追い風となる。日本は17年 +1.2%、18年 +0.6%。
	20 16年度貿易統計 (速報)	円高や原油安で輸入額が大幅に減少し、貿易収支は4兆69億円と6年ぶりの黒字転化。
	20 16年度粗鋼生産量 【日本鉄鋼連盟】	自動車や建築向けが好調で、1億516.2万トン (前年度比 +0.9%) と3年ぶりの増加。
	20 月例経済報告	「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	24 16年度国内パソコン出荷台数 【電子情報技術産業協会】	出荷台数 697.4万台 (前年度比▲1.9%)、うちデスクトップ型 176.2万台 (同 +0.5%)、ノート型 521.2万台 (同▲2.7%)。
	26 16年度工作機械受注額 (確報) 【日本工作機械工業会】	1兆2,893億1,000万円 (前年度比▲7.8%)、2年連続の減少。
	26 日銀、金融政策決定会合 (～27日)	金融政策の現状維持を決定。
	26 今村復興相辞任	東日本大震災に関し「東北だったから良かった」と発言した責任を取り辞任。
	27 日露首脳会談 (モスクワ)	北方領土での共同経済活動の具体化に着手すること、北方四島元島民の航空機による墓参を6月に行うことで一致。
27 ECB、政策金利	0.00%。	
28 16年度新設住宅着工戸数	97.4万戸 (前年度比 +5.8%)、2年連続の増加。	
28 日銀、4月展望レポート	実質 GDP 成長率は17年度 +1.6%、18年度 +1.3%と、いずれも上方修正。	
28 米、1～3月期 GDP (速報、季調済、前期比)	+0.7%。	
5	2 米、FOMC (～3日)	政策金利の据え置きを決定。
	3 ユーロ圏19カ国、1～3月期 GDP (速報、前期比)	+0.5%。
	7 仏大統領選	無所属のエマニュエル・マクロン前経済相が極右政党・国民戦線のマリヌ・ルペン氏を破り当選、仏史上最年少の39歳で大統領に。
	9 韓国大統領選	革新系の最大野党・共に民主党の文在寅氏が当選。
10 16年度末の国の借金	債務残高総額 1,071兆5,594億円 (前年度末比 +22兆1,933億円) と過去最大。	

月日	主な動き	内容・決定事項など
5	11 16年度国際収支統計(速報)	経常黒字は20兆1,990億円と3年連続の増加、貿易収支は+5兆7,654億円と黒字幅拡大。
	18 16年度GDP(速報)	実質+1.3%、名目+1.2%。
	22 英、自爆テロ	マンチェスターのコンサート会場で自爆テロ、22人が死亡、約120人が負傷。
	23 米トランプ大統領、18会計年度予算教書発表	大型減税で経済成長率を高め、10年間で3.6兆ドルの歳入削減を実行し財政収支の黒字化を見込むも、具体策が示されず実現は不透明。
	24 月例経済報告	「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	26 G7タオルミーナ・サミット(～27日、イタリア・タオルミーナ)	保護主義と闘い、ルールに基づいた貿易システムを目指す方針を明記した首脳宣言を採択。パリ協定に関しては米国の支持を得られず。
	26 日米首脳会談(イタリア・タオルミーナ)	核・ミサイル開発を進める北朝鮮に対し「圧力をかけていくことが必要」との認識で一致。開発を支援した組織の特定など、制裁強化に向けて協力することを表明。
26 米、1～3月期GDP(2次速報、季調済、前期比)	+1.2%に上方修正。	
6	2 16年合計特殊出生率	前年を0.01ポイント下回る1.44。前年を下回るのは2年ぶり。
	3 英、自動車暴走テロ	犯人はロンドン橋で歩行者を次々とはね、車から降りた後ナイフで襲撃。8人が死亡、約50人が負傷。
	4 世界銀行、世界経済見通し	17年の実質GDP成長率は世界+2.7%、日本+1.5%、米+2.1%、ユーロ圏+1.7%。
	7 OECD経済見通し(春季)	17年の世界経済の実質GDP成長率を+3.5%と、前年11月見通しの+3.3%から上方修正。18年は3.6%。
	8 16年度GDP(2次速報)	実質+1.2%、名目+1.1%。
	8 ECB、政策金利	0.00%。
	9 天皇陛下退位、特例法成立	参院本会議で自由党を除く全党の賛成で可決、成立。約200年ぶりの退位が実現。
	13 米、FOMC(～14日)	政策金利の誘導目標を「0.75～1.00%」から「1.00～1.25%」に引き上げるほか、年内にバランスシートの縮小に着手すると表明。
	15 共謀罪法成立	組織犯罪を計画段階で処罰可能にするため、「共謀罪」の構成要件を改め「テロ等準備罪」を新設した改正組織犯罪処罰法が、参院本会議で可決、成立。7月11日施行。
	15 日銀、金融政策決定会合(～16日)	金融政策の現状維持を決定。
	20 小池都知事、中央卸売市場の豊洲移転を表明	築地市場跡地は5年後をめどに、市場機能を残した「食のテーマパーク」として再開する構想を提示。
	22 月例経済報告	「景気は、緩やかな回復基調が続いている」
	27 通商白書2017年版	副題「自由貿易、イノベーション、包摂的成長を支える新しい通商政策へ」。
29 米、1～3月期GDP(確定、季調済、前期比)	+1.4%に上方修正。	
7	2 東京都議選	小池都知事率いる「都民ファーストの会」が55議席(追加公認6人を含む)を獲得、自民党は過去最低の23議席に。

月日	主な動き	内容・決定事項など
7	3 日銀、6月全国企業短期経済観測調査(短観)	業況判断指数(DI)は大企業・製造業で+17と3月から5ポイント改善。大企業・非製造業は+23と同3ポイント改善。
	3 17年分路線価	全国平均は前年比+0.4%、宮城県+3.7%、東京都・沖縄県+3.2%など13都道府県が上昇。
	6 日EU EPA、大枠合意	安倍首相、EUトウスク大統領らと会談し、日EU経済連携協定(EPA)の大枠合意を宣言。
	6 日米韓首脳会談(ドイツ・ハンブルク)	北朝鮮への圧力強化のため緊密に連携することを確認、朝鮮半島非核化には中国とロシアの役割が重要との認識で一致。
	6 17年上半年輸入車新規登録台数(速報)【日本自動車輸入組合】	17.4万台(前年同期比+2.0%)、うち外国メーカー車は15.1万台(同+3.8%)。
	7 G20ハンブルク・サミット(～8日)	首脳宣言で「全ての不公正な貿易慣行を含む保護主義と闘う」と表明、パリ協定については19カ国・地域が米の脱退に留意する一方、同協定は「不可逆なもの」との見解で一致。
	7 日韓首脳会談(ドイツ・ハンブルク)	文在寅大統領就任後、初の首脳会談。両首脳が定期的に相互訪問する「シャトル外交」の再開で合意。北朝鮮問題に関し、文大統領は南北対話の必要性に言及。
	7 日露首脳会談(ドイツ・ハンブルク)	北方領土共同経済活動の絞り込みを進めること、延期中の元島民による空路参参を9月に再調整することで一致。
	7 核兵器禁止条約採択	国連本部での条約交渉会議で、核兵器の開発、製造、使用などを禁止する同条約に122カ国が賛成し採択。日本は核保有国と歩調を合わせ不参加、署名もしない方針。
	8 日中首脳会談(ドイツ・ハンブルク)	日中関係改善に向け、首脳間の対話を強化することで一致。安倍首相が北朝鮮への圧力強化を要請するも、習国家主席は独自制裁に反対を表明。
	8 日米首脳会談(ドイツ・ハンブルク)	トランプ大統領は対日貿易赤字は正や市場アクセスの重要性に言及、安倍首相は「ウィンウィンの関係」を目指す」と表明。
	9 沖ノ島、世界遺産に登録	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群(福岡県、8資産)が日本で21件目の世界遺産に。
	17 中国、4～6月期GDP(前年同期比)	+6.9%、1～3月期から横ばい。
	19 日銀、金融政策決定会合(～20日)	金融政策の現状維持を決定。
	19 月例経済報告	「景気は、緩やかな回復基調が続いている」
	20 17年上半年貿易統計(速報)	貿易収支は1兆444億円と3期連続の黒字、輸出は37兆7,873億円(前年同期比+9.5%)と4期ぶりの増加、輸入は36兆7,429億円(同+12.2%)と5期ぶりの増加。
	20 ECB、政策金利	0.00%。
	21 日銀、7月展望レポート	実質GDP成長率は17年度+1.8%、18年度+1.4%と、いずれも上方修正。
	21 経済財政白書2017年版	副題「技術革新と働き方改革がもたらす新たな成長」。
	25 米、FOMC(～26日)	政策金利の据え置きを決定。
28 稲田防衛相辞任	陸上自衛隊の日報問題を巡る不祥事の責任を取り辞任。	
28 米、4～6月期GDP(速報、季調済、前期比)	+2.6%。	

月日	主な動き	内容・決定事項など
7 31	17 年上半年自動車輸出台数【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数 222.9 万台（前年同期比 +1.8%）、3 年連続の増加。
8 1	ユーロ圏 19 カ国、4～6 月期 GDP(速報、前期比)	+0.6%。
8 3	第 3 次安倍第 3 次改造内閣発足	河野太郎氏、小野寺五典氏、野田聖子氏らが入閣。内閣支持率が下落する中、閣僚経験者を 13 人登用し、政権運営の立て直しを目指す。
8 4	米、パリ協定離脱方針を正式通知	地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」からの離脱方針を国連気候変動枠組み条約事務局に通知するも、再加盟に含み。
8 8	17 年上半年国際収支（速報）	経常収支は 10 兆 5,101 億円、前年同期より +300 億円、リーマンショック前の 07 年以來の高水準。
8 14	4～6 月期 GDP（速報、季調済、前期比）	実質 +1.0%、名目 +1.1%。
8 17	スペイン、自動車暴走テロ	バルセロナ中心部ランプラス通りを自動車暴走し、14 人が死亡、130 人以上が負傷。翌 18 日には同国北東部カンプリスで自動車暴走、1 人が死亡、6 人が負傷。
8 28	月例経済報告	「景気は、緩やかな回復基調が続いている」
8 30	米、4～6 月期 GDP（2 次速報、季調済、前期比）	+3.0%に上方修正。
9 3	北朝鮮、6 度目の核実験	北朝鮮の朝鮮中央テレビは、大陸間弾道ミサイル搭載用の水爆実験に「完全に成功した」と発表。
9 7	日韓首脳会談（ロシア・ウラジオストク）	核実験を強行した北朝鮮に対し「異次元の圧力」をかける方針を確認。安倍首相、慰安婦問題や日本植民地時代の元徴用工を巡る問題に関し、政府の見解を改めて伝達。
9 7	日露首脳会談（ロシア・ウラジオストク）	安倍首相の北朝鮮への圧力強化要請に対し、プーチン大統領は対話重視を改めて表明。北方領土の共同経済活動については、海産物の養殖など 5 項目の実施で合意。
9 7	ECB、政策金利	0.00%。
9 7	メキシコ地震	太平洋を震源とするマグニチュード 8.1 の巨大地震が発生、少なくとも 98 人が死亡。
9 8	4～6 月期 GDP（2 次速報、季調済、前期比）	実質 +0.6%、名目 +0.7%。
9 15	英、地下鉄爆発テロ	ロンドン南西部パーソンズ・グリーン駅で地下鉄車両内に置かれた爆発物が爆発し、30 人が負傷。
9 19	17 年 7 月 1 日時点の基準地価	東京、大阪、名古屋の 3 大都市圏は商業地が前年比 +3.5%、住宅地は同 +0.4%。
9 19	国連総会、一般討論演説（～ 25 日、ニューヨーク）	安倍首相、核・ミサイル開発を続ける北朝鮮に対する圧力強化を訴える（20 日午後）。
9 19	米、FOMC（～ 20 日）	政策金利の据え置きを決定、10 月にバランスシートの縮小に着手することを表明。
9 19	メキシコ地震	中部を震源とするマグニチュード 7.1 の強い地震が発生、少なくとも 333 人が死亡。
9 20	日銀、金融政策決定会合（～ 21 日）	金融政策の現状維持を決定。
9 21	日米韓首脳会談（ニューヨーク）	北朝鮮問題に関し、日米韓が結束して国際社会に働きかけることで一致。

月日	主な動き	内容・決定事項など
9 21	日米首脳会談（ニューヨーク）	安倍首相、トランプ大統領が国連総会の一般討論演説で北朝鮮の拉致問題を取り上げたことに謝意を表明。
9 25	月例経済報告	「景気は、緩やかな回復基調が続いている」
9 25	希望の党結成	小池都知事、「希望の党」を結成し代表に就任。
9 26	世界経済フォーラム、世界競争力レポート	日本の総合順位は 9 位（昨年 8 位）。
9 28	第 194 回国会召集（臨時会）	会期は 1 日、同日衆院解散、第 48 回衆院選の日程を「10 月 10 日公示、22 日投票開票」と発表。
9 28	米、4～6 月期 GDP（確定、季調済、前期比）	+3.1%に上方修正。
10 1	カタール・ニヤ、スペインからの独立を問う住民投票	賛成多数も中央政府が投票の無効を主張。27 日、スペイン上院はカタール・ニヤの自治権停止を承認、中央政府は州議会の解散とプチデモン州首相の解任を決定。
10 1	米、銃乱射事件	ラスベガスのコンサート会場が銃撃され、58 人が死亡、500 人以上が負傷。
10 2	立憲民主党結成	民進党の枝野幸男代表代行、希望の党に合流しないリベラル派らと新党を結成し代表に就任。
10 2	日銀、9 月全国企業短期経済観測調査（短観）	業況判断指数（DI）は大企業・製造業で +22 と 6 月から 5 ポイント改善、大企業・非製造業は +23 と同横ばい。
10 5	17 年度上半期輸入車新規登録台数（速報）【日本自動車輸入組合】	16.8 万台（前年同期比▲0.1%）、うち外国メーカー車は 14.7 万台（同 +1.7%）。
10 10	IMF 世界経済見通し（秋季）	世界経済の実質 GDP 成長率は 17 年 +3.6%、18 年 +3.7%、日本は 17 年 +1.5%、18 年 +0.7%。
10 13	IMF・世界銀行年次総会（～ 15 日、ワシントン DC）	世銀、財政能力強化に向けた新たな方策を講じ、18 年春会合で理事会の合意を目指すことを表明。
10 19	17 年度上半期貿易統計（速報）	輸出は 38 兆 3,738 億円（前年同期比 +12.8%）、輸入は 36 兆 4,549 億円（同 +15.3%）、貿易収支は 1 兆 9,190 億円（同▲20.3%）と 4 期連続の黒字。
10 19	中国、7～9 月期 GDP(前年同期比)	+6.8%、6 四半期ぶりに前四半期を下回る。
10 22	第 48 回衆院選	自民党が 284 議席（追加公認 3 人を含む）を獲得し圧勝、立憲民主党は 55 議席（同 1 人を含む）で野党第 1 党に。
10 25	17 年度上半期パソコン国内出荷台数【電子情報技術産業協会】	出荷台数 321.0 万台(前年同期比▲4.8%)、2,947 億円(同 +0.5%)。
10 25	月例経済報告	「景気は、緩やかな回復基調が続いている」
10 26	ECB、政策金利	0.00%。
10 27	米、7～9 月期 GDP(速報、季調済、前期比)	+3.0%。
10 30	日銀、金融政策決定会合（～ 31 日）	金融政策の現状維持を決定。
10 31	17 年度上半期自動車輸出台数【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数 231.1 万台（前年同期比 +2.5%）、上半期として 2 年連続のプラス。
10 31	米、FOMC（～ 11 月 1 日）	政策金利の据え置きを決定。
10 31	ユーロ圏 19 カ国、7～9 月期 GDP(速報、前期比)	+0.6%。
10 31	米、トラック暴走テロ	ニューヨークでピックアップトラックが自転車専用レーンに突入し、8 人が死亡、10 人以上が負傷。

月日	主な動き	内容・決定事項など
11 1	第4次安倍内閣発足	すべての閣僚を再任し、「人づくり革命」を柱とする17年度補正予算の編成、19年10月の消費増税に向けた環境整備などを進める。
1	日銀、10月展望レポート	実質GDP成長率は17年度+1.9%と上方修正、18年度+1.4%と据え置き。
5	米トランプ大統領来日（～7日）	大統領就任後初の来日。6日には北朝鮮による拉致被害者の家族らと面会。
6	日米首脳会談（東京）	トランプ大統領、共同記者会見で対日貿易赤字の削減に意欲を示すとともに、北朝鮮について「米国は日本と団結し、北朝鮮の脅威に立ち向かう」と表明。
6	COP23（～18日、ドイツ・ボン）	「パリ協定」に盛り込まれた仕組みの一部を18年から試行すること、協定の運用ルール作りの交渉を加速することなどを盛り込んだ合意文書を採用。
9	17年度上半期国際収支（速報）	経常黒字は11兆5,339億円（前年同期比+11.7%）と高水準、貿易収支は+2兆6,869億円の黒字。
10	アジア太平洋経済協力（APEC）首脳会議（～11日、ベトナム・ダナン）	主題は「新たなダイナミズムの創出と共通の未来の促進」。「不公正な貿易慣行を含む保護主義と闘う」などの文言を盛り込み、WTOの機能改善に言及した首脳宣言を採用。
10	日露首脳会談（ベトナム・ダナン）	北朝鮮に対する安保理制裁決議を厳格に履行し、緊密に連携していくことを確認。北方領土の共同経済活動に関しては来春までの具体化を目指すことで一致。
11	TPP11、大筋合意	共同議長を務めた茂木経済再生担当相とベトナムのイン商工相、米国の離脱に伴い20項目を凍結し、11カ国で発効を目指す新協定（TPP11）について大筋合意を発表。
11	日中首脳会談（ベトナム・ダナン）	習国家主席との会談。北朝鮮対策に中国の協力が不可欠な日本と、「大国外交」推進のため日中関係の安定化を求めている中国との間で歩み寄りの機運が高まり、双方が関係改善への意欲を示す。
13	日中首脳会談（フィリピン・マニラ）	李首相との会談。中断している日中韓首脳会談の早期開催に向けて調整すること、日中韓FTAなどの進展にむけ連携していくことで一致。
15	7～9月期GDP（速報、季調済、前期比）	実質+0.3%、名目+0.6%。
20	米、北朝鮮をテロ支援国家に再指定	北朝鮮に対する追加制裁の発動も発表。
21	ジンバブエのムガベ大統領辞任	ジンバブエ建国時から37年間政権の座にあったムガベ氏が辞任し、既に開始されていた弾劾手続きは停止。
24	エジプト、銃乱射テロ	エジプト北東部シナイ半島のモスクが銃撃され、300人以上が死亡、120人以上が負傷。
27	ルクセンブルクのアンリ大公来日（～30日）	外交関係樹立90周年に当たり、国賓として来日。宮中晩餐会には、大公と同行する長女のアレクサンドラ王女も出席。
28	月例経済報告	「景気は、緩やかな回復基調が続いている」
28	OECD経済見通し（秋季）	17年の世界経済の実質GDP成長率を+3.6%と、9月の中間経済見通しから上方修正、18年は+3.7%と据え置き。

月日	主な動き	内容・決定事項など
11 29	米、7～9月期GDP（2次速報、季調済、前期比）	+3.3%に上方修正。
12 6	米トランプ大統領、エルサレムをイスラエルの首都と正式認定	イスラエルは歓迎するもパレスチナは猛反発、国際社会からも強い非難が噴出。
8	7～9月期GDP（2次速報、季調済、前期比）	実質+0.6%、名目+0.8%。
8	天皇陛下下退位日を閣議決定	天皇陛下が退位される日を19年4月30日と定めた政令を決定。翌5月1日に皇太子さまが新天皇に即位、同日改元も行われる。
8	日EU EPA、妥結	最大の懸案だった投資分野を協定から切り離すことでおおむね一致。19年の発効を目指す。
8	英のEU離脱交渉、主要分野で合意	交渉は今後、通商問題などを話し合う第2段階へ移行する見通し。
12	米、FOMC（～13日）	政策金利の誘導目標を「1.00～1.25%」から「1.25～1.50%」に引き上げ。
14	ECB、政策金利	0.00%。
15	日銀、12月全国企業短期経済観測調査（短観）	海外経済の好調が続く、業況判断指数（DI）は大企業・製造業で+25と9月から3ポイント改善、改善は5四半期連続。大企業・非製造業は+23と同横ばい。
20	日銀、金融政策決定会合（～21日）	金融政策の現状維持を決定。
21	月例経済報告	「景気は、緩やかな回復基調が続いている」
21	米、7～9月期GDP（確定、季調済、前期比）	+3.2%に下方修正。
29	東京証券取引所大納会	日経平均株価の終値は2万2,764円94銭、6年連続で前年末を上回る。
29	NY株式市場年末値	ダウ工業株（30種平均）の終値は2万4,719ドル22セント、前年末からの上げ幅は4,956ドルと過去最大。